

問 山田町福祉タクシーの利用状況は

答 7名の利用者に16件分を助成



利用されている福祉タクシー

問 今年度より、山田町福祉タクシー利用助成事業が開始されたが、利用状況は。また、申請の方法は、簡素で利用しやすい形式になっているか。

佐藤町長 令和7年5月末現在、7名の利用者に対して合計16件分を助成している。申請の方法は、福祉タクシー利用後に領収書等を添えて申請する。



きむら ようこ 議員
木村 洋子 (日本共産党)

問 全国的にも、米不足と米価の高騰が深刻である。特に子育て世帯や低所得世帯からは、高すぎて買えないとの声が聞かれるが、町としての対策を考えているか。

町長 これまで町では、国や県の経済対策と連動し、特に家計への負担が大きい低所得世帯に対し、臨時給付金などの支援を実施した。また、子育て世帯への支援は、副食費助成、

答 必要に応じた事業を実施

問 米不足への対応は

●「福祉タクシー利用助成事業」とは
利用者の経済的負担を軽減するため、タクシー会社が所有するストレッチャ・車椅子移送車の利用に係る費用の一部を助成。
・片道を1回とする
・1か月の上限は4回
・1回当たりの上限額はストレッチャ対応車両で2万円、車椅子対応車両で1万円
寝たきり等で公共交通機関を自力で利用できない方が医療機関を受診する際、運賃の半額を助成。

保育料・給食費・医療費の無償化などを実施し、経済的支援に努めている。本年度は、現在プレミアム付商品券事業実施の準備を進めている。高齢者世帯への支援についても、本議会で審議される補正予算に所要額を計上している。

問 米不足に陥らないために、作付面積を増やすべきと考えるが現状はどうか。また、自給率を上げるためには、

問 修学旅行費の旅行前支給は

答 課題があり難しいが研究する

問 就学援助を受けている世帯への修学旅行費の支給を修学旅行後ではなく修学旅行前にできないか。

松葉教育長 修学旅行前の支給は、旅行に参加できなかった場合には、返金が必要になることや、積立てが開始される中学2年生時において受給資格の判定が難しいなどの課題があり、難しいが、今後、他市町村の事例などを参考に研究していく。

農業を守る施策が重要であると考えるがどうか。

町長 作付面積の現状は、米買取価格の上昇に伴い、転作作物からの主食用米への切替え等、主食用米作付面積は増えるものと予測している。また、農業を守る施策は、国の施策、動向を注視しながら、新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、食料自給率の向上のほか、担い手並びに新規就農者の確保に努める。



順調に生育する水稻（荒川地区）